

ニュージーランド釣り紀行

釣りキチ 四平

29 歳

新潟県出身

元製造メーカー勤務



ちょうど、4 年間勤めていた会社を退職し地元への Uターンを考え始めたとき、どうせなら今しかできないワーキングホリデーにチャレンジしたいと考え、私の趣味である「釣り」が十分楽しめる国ニュージーランドを決めました。

Auckland

とはいえ、英語が話せなければ生活できませんので、オークランドで語学学校へ 2 ヶ月通い英語に慣れることから始めました。久しぶりの「学校」ということもあり、毎日まるで小学校の様でとても楽しく過ごせました。中国、韓国からの生徒が多い学校でしたが、同じアジア人ということでたくさんの友達ができ旅行に一緒に行くほどの仲にまでなりました。オークランドの生活もそれなりに楽しかったのですが、次第に刺激がなくなり始め、フラットメイトの「オークランドはニュージーランドじゃない」の一言を聞き、オークランドを離れる事になりました。

Gisborne

北島の東海岸に位置するこの地域は、釣りで有名です。「wwoof」で探したエクステンジ先は、70 歳のお婆ちゃんが経営しているコテージで、一日 4 時間ほど掃除、洗濯、ガーデニングなどをします。フリーの時間は釣りやハイキングなどをして、ゆっくりした時間を過ごす事ができました。

私の部屋は、古いキャラバンでオーシャンビュー付でした。朝日と鳥のさえずりで起床みたいな感じです。日本では考えられないくらいの田舎なので（ちょっとした店、町まで、車で 30 分）、不便なこともありましたが、これもニュージーランドの一つの魅力だと考えると意外と楽しめました。

【釣り】

このコテージの近くの磯で 40~60 cm のカーワイという魚がかなり釣れました。たまに、50 cm クラスのタイもまじります。何度か大きなアタリがあり、40 l b のリーダーが切られる事も。やはり、人の多い都市部とは違い魚もたくさんいます。ここで初めて「ニュージーランドは釣り天国」と思うことができました。



(コテージからの景色)

Benheim

お金もそろそろ底をつき始めたので、南島に渡りワイン畑で仕事をする事とに。仕事の内容は、収穫後のブドウの木の枝をワイヤーに巻く作業で、決して楽ではありません。冬の朝の 8 時頃、まだ寒い時間から仕事を開始するため、手が思うように動かない。また、地面が凍っている時もありました。幸運な事に、一緒に働いていた友達が経験者だったため、色々とアドバイスをしてくれ、また、給与の良い会社を紹介してくれたため、それなりに稼ぐ事ができました。働いた後のビールとその日の仕事について語るのは楽しかったです。

【釣り】

近くの川の河口、砂浜で、カーワイ、レッドコッド、サメ、ウナギ等が釣れました。冬の期間はレッドコッドがほぼ入れ食いで釣れますが、あまり美味しくありません。信じられない事に、120cm のサメを砂浜から釣り上げました。ここでは、中国人の友達と住んでいたもので、釣った魚はほとんど食べてしまいます。人生初めてサメも食べました。絶品です。さすが中国 4000 年、不可能はありません。



(浜辺からの釣り)

Hicks Bay

南島でお金をためた後、また北島に戻り釣りの旅を再開しました。今度は、East Cape にほど近いヒックスベイのバックパッカーに合計2週間くらいステイしました。

このオーナーはマオリのおじさんで、「日本人とマオリの生活は共通点がたくさんある」なんて言って、色々と親切にしてくれました。夕食をご馳走してくれたり、釣りのポイントを丁寧に教えてくれたり、何回かエクスチェンジとしておじさんと一緒にロードサービスの仕事もしました。ほんの少しですが、マオリの生活に触れる事ができた、いい経験です。

おすすめバックパッカー：Mels Place

【釣り】

近くの岬にある灯台の下がいいポイントらしく、何回か出かけました。ここで大きな魚を釣る事はできませんでしたが、大物のタイの他に、夏場はキングフィッシュも釣れるポイントらしいです。

また、このポイントまでファームを30分くらい横切らなくてはならず、牛と羊の中をひたすら歩きました。日中は気分爽快ですが、日没後ライト無しの牧場歩きは少し危険です。



Far North

最後の釣りをファーノースに決め、最北端のバックパッカーにステイし、大物のタイを狙いました。ここでは、近所の釣り好きのおじさんが、釣り方、仕掛けなど色々教えてくれ、何回か一緒に釣りにも行きました。ここでの毎日の挨拶は「今日は釣れたか？」でした。

おすすめバックパッカー：North Wind Lodge Backpacker

【釣り】

このバックパッカーのすぐ裏の磯がいいポイントで、大物のタイがかなり釣れるそうです。オーナーに写真を何枚も見せてもらいました。実際、何回か大きなアタリはあったのですが、運悪く全てバラシ。結局 50cm～55cm クラスのタイしか釣り上げる事ができませんでした。



(おじさん魚と格闘中)

結局、私のニュージーランド釣りの旅は大物を釣り上げることなく終了しました。しかし、振り返ってみると、日本では考えられないのんびりした生活、体験をした、人生最高の夏休みだったと思います。ただ、「楽しかった」。これは、これでいいんじゃないかと。また、数年後に今回出会う事が出来なかった大物を釣り上げるために絶対帰って来たいと思います。